



# 会津医療センターから こんにちは！



— ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ —  
【27】 臨床工学部  
主任医療技師 北條 真利

## 『機器管理で医療支える』

**み** なさん、「臨床工学技士」という資格を知っていますか？  
最近ではテレビドラマの影響で、耳にしたことがある、という方もいるのではないのでしょうか？

とはいえ、まだまだなじみがない方が多いと思いますので、この場を借りてご紹介いたします！

臨床工学技士は、「臨床」に携わる「工学技士」のことですが、まだまだ堅いと思いますので、さらにかみ砕きます。医師の指示を受けながら、「診療や治療」に必要な「機器のメンテナンスや操作を行う」国家資格を持った専門家なのです。

例えば、心臓の病気をお持ちの患者さんには、主に心電図を見て異常があれば記録し、即座に医師へ報告する監視役をしています。腎臓や肝臓などの病気をお持ちの患者さんには、血液透析や血漿交換、血液吸着を行います。不整脈に苦しむ患者さんには、身体に植え込んだペースメーカーの操作、管理、点検をします。自分で呼吸を維持できなくなる病気の患者さんには、人工呼吸器を操作したり、機器の使用前、使用中、使用後に点検をしたりしています。手術室では、手術が円滑で安全に行われるように機器の操作・管理をします。治療の裏側では、医療機器の管理や修理、保守点検を一手に引き受け、機器の正しい使用方法を伝えるための院内スタッフへ向けた研修も行っているのです！いかがでしょうか？実は、病院内のたくさんの場面で臨床工学技士が活躍しているのです。

私たちの病院は、6人の臨床工学技士で診療・治療に対するとともに、日々の医療の進歩にも対応しています。今の医療現場では機械化がかなり進んでいて、医療機器なしでは治療の現場が成り立たなくなっているのです。私たちも、患者さんと一緒に病気と闘う仲間です。医療機器にトラブルがないよう事前に点検確認を行い、医療機器がいつでも安心して使用できるように日々力を尽くして、患者さんの安心や安全を支えています。